

平成26年度

練馬区立光が丘第八小学校

【 社会科 】

|     | 指導の配慮点<br>(授業規律・発問・板書・個別指導・ノート指導など)   | 観点別の授業改善の視点   |  |  |   |
|-----|---|---|--|--|---|
|     |   | 関心・意欲・態度を<br>向上させるための手だて  | 思考・判断・表現を<br>向上させるための手だて   | 技能を<br>向上させるための手だて   | 知識・理解を<br>向上させるための手だて   |
| 導入  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(授業規律) チャイム着席、学習の準備ができるように、児童に繰り返し指導し、学習規律を確立する。</li> <li>・(板書) 本時の日付、テーマを板書し、課題をつかませる。また、前時までの学習を思い起こさせる。</li> <li>・(教材提示) カラーコピー、ビデオ、本、実物投影機など、視覚に訴えながら、児童の気持ちをひきつけるような効果的な教材の提示を工夫する。</li> <li>・(発問) 児童にとって身近な話を例に切実感をもたせ、社会の問題について考える気持ちをもてるような発問をする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の身近な話題から導入する。(時間は5分程度にする。)</li> <li>・資料を提示する場合は、児童が疑問をもったり、考えたりできるものを選ぶ。</li> <li>・視聴覚教材の工夫をする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題が適切であるか確認し、生活や今までの経験を生かして、見通しをもたせるようにする。</li> <li>・身近な生活の中で体験していることと結びつけて考えられるようにする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートは見開き1ページで1時間分をまとめられるようにする。</li> <li>・ノートには、課題、考え、分かったこと、まとめ、感想の順で書くことを指導する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・覚えなければならない用語、概念、地形図などは画用紙や模造紙にまとめ、掲示できるようにしておく。</li> <li>・ミニテストを実施し、知識・理解の定着を図る。</li> </ul>   |
| 展開  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(ノート指導) 課題に対する考えや知っていることを書くようにし、自分の考えをもたせる。</li> <li>・(話し合い指導) まず自分の考えをもたせ、それから話し合いを始めるようにする。友達の考えをよく聞き、自分の考えと比べたり、関係づけたりして聞くことができるようにする。</li> <li>・(ノート指導) 自分の考えと友達の考え、学習して分かったことを区別して書くよう指導し、学んだことを整理させる。児童が考える時間、きちんとノートをまとめる時間を確保する。自分の考えと事実を分けて書くようにする。</li> <li>・(板書) 1時間で学習したことが後から見て分かるように板書する。</li> <li>・(発問) 児童の考えを引き出し、本時の内容と既習事項が関連付けられるような発問を工夫する。また、児童が十分に考え、答えを導き出せるよう、その状況に応じた声かけを行っていく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の目的、内容、まとめを明確にし、めあてをもって活動に取り組ませる。</li> <li>・自分の疑問や知りたいことにそって調べたり、まとめたりする活動を取り入れ、主体的に学ぶ意欲をもたせるようにする。</li> <li>・児童の考えのよさを教師が認め、意見を発表しやすくする。</li> <li>・机間指導では、考えを広げたり、考えのヒントになるような言葉をかけたりして、個々の意欲を引き出す。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を読み取る力を身につけるために、いろいろな資料に触れながら、見方、読み方を学ばせる。</li> <li>・資料から読み取ったことの要因を考えられるように、前時までの学習や生活体験を思い出させるようにする。</li> <li>・比較する力を身につけるため、違うところや同じ所を意識させ、ノートの書かせ方、発問の仕方を工夫していく。</li> <li>・自分の考えを書けた時は、自信がもてるような声かけをくり返し行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことをまとめる方法として、調べるきっかけ、内容、方法、分かったこと、より知りたいこと、感想を定着させる。図や表を適宜用いてまとめられるよう、その効果を知らせる。</li> <li>・表やグラフ、図や絵を丁寧に書いている児童のノートを紹介していく。</li> <li>・視聴覚機器を発表内容に合わせて活用し、調べたことがより効果的に発表できるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉指導の中で社会科に関する用語を確認したり、復習したりする時間を設ける。</li> <li>・個人、またはグループで調べた内容を発表し、互いに関連させながら知識をより確実に広く身に付けさせる。</li> <li>・知識を獲得するためのワークやまとめのプリントを工夫していく。</li> <li>・調べたことや読み取ったことから得た知識を整理していく。</li> </ul> |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(板書) 学習した内容の大切なことを黒板や短冊、画用紙に書き、掲示するなどして学んだことを学級で共有化するようにする。</li> <li>・(ノート指導) ノートのまとめには、分かったことやもっと調べたいこと、疑問などの次時につながることを自分の言葉で書くようにする。</li> <li>・(評価) 簡単な自己評価や友達への相互評価(友達のよさ)も取り入れる。</li> <li>・(授業構成) 今日の課題が解決されたのか確認することで、次時の学習内容に対する、興味や関心をもてるようにつなげる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習での課題・疑問は、様々な情報や体験の中で、解決できることに気付かせる言葉かけを行う。</li> <li>・簡単な自己評価や友達への相互評価(友達のよさ)も取り入れ、今日の学習を振り返るようにする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや資料からわかることを読み取れない児童には、資料の見方や見る中心などのヒントを与える。</li> <li>・友達の考えを聞き、どう思ったか、考えをより深めさせるようにする。</li> <li>・本時の学習で分かったことを伝え合う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しくグラフや図を描けるよう、個人の技能に合わせて用紙や書き方を工夫する。</li> <li>・板書を正しく書くことやノートをきちんと書くことのよさを確認し、くり返し指導していく。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容や、1時間で学んだことをノートにまとめさせ、教師からの感想などコメントを書く。</li> <li>・進んで家庭学習に取り組めるよう、課題を出し、知識、理解の習得を図る。</li> </ul>   |